

平成 15 年 度 学校保健統計調査報告

目 次

本年度調査結果の特徴	1 頁
I 調査の概要	2
利用上の注意	2
II 調査結果の概要	3
1 身長、体重、座高の年齢別平均値	3
(1)身長	3
(2)体重	3
(3)座高	3
2 年齢間比較	4
3 男女間比較	5
4 世代間比較	6
(1)男子	6
(2)女子	7
III 統計表	
1 身長・体重・座高の平均値及び標準偏差(東京都及び全国)	9
2 平均身長の推移	11
3 平均体重の推移	12
4 平均座高の推移	13

東京都

本年度調査結果の特徴

1 身長 (表1・P3、図1・P4)

男子は、9歳(小学4年)が134.4 cm、16歳(高校2年)が170.9 cmで調査開始以来最高となった。

女子は、10歳(小学5年)が140.8 cmで調査開始以来最高となった。

2 体重 (表1・P3、図2・P4)

男子は、8歳(小学3年)が28.3 kgで調査開始以来最高となった。

3 座高 (表1・P3)

男子は、9歳(小学4年)が73.2 cmで調査開始以来最高となった。

4 男女差 (表3・P5)

女子が同年齢男子を上回っているのは、10歳(小学5年)と11歳(小学6年)の身長、体重、座高と12歳(中学1年)の座高である。

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査(指定統計第15号)は、文部科学省が昭和23年度から実施しており、児童、生徒及び幼児の発育状態及び健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査対象

調査実施学校数及び調査対象者数は、次のとおりである。

区 分	調査実施校	調査対象者数
幼稚園	35園	1, 540人
小学校	60校	5, 760人
中学校	40校	4, 800人
高等学校	60校	2, 700人
計	195校	14, 800人

(注)調査実施校に在籍する児童、生徒及び幼児のうちから年齢別男女別に抽出された者を対象としている。

3 調査事項

- (1) 児童、生徒及び幼児の発育状態(身長、体重及び座高)
- (2) 児童、生徒及び幼児の健康状態(疾病・異常等)

4 調査期日

平成15年4月1日から6月30日までの間に実施された学校保健法による健康診断の結果に基づき調査したものである。

利用上の注意

本報告は、平成15年度学校保健統計調査結果のうち、東京都分について取りまとめたものです。

- 1 年齢は、平成15年4月1日現在の満年齢です。
 - 2 この報告の数値は、後日文部科学省から公表される確定値と異なる場合があります。
 - 3 疾病・異常被患率等については、全国集計のみとなりました。
- ※ 疾病・異常被患率等の全国集計結果については、文部科学省のホームページを御覧ください。http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/index.htm

Ⅱ 調査結果の概要

1 身長、体重、座高の年齢別平均値(表1、図1、図2、Ⅲ統計表)

平成15年度調査における東京都の児童、生徒及び幼児の発育状態は、9歳(小学4年)男子、16歳(高校2年)男子の身長、10歳(小学5年)女子、13歳(中学2年)女子の身長、8歳(小学3年)男子の体重、9歳(小学4年)男子、16歳(高校2年)男子の座高、10歳(小学5年)女子の座高が調査開始以来最高(過去最高と同値を含む。以下「最高」という。)となった。

(1) 身長

ア 男子は、9歳(小学4年)が134.4cm、16歳(高校2年)が170.9cmで最高となった。

イ 女子は、10歳(小学5年)が140.8cm、13歳(中学2年)は155.7cmで最高となった。

(2) 体重

ア 男子は、8歳(小学3年)が28.3kgで最高となった。

イ 女子では、前年度に引き続き、最高となる数値がなかった。

(3) 座高

ア 男子は、9歳(小学4年)が73.2cm、16歳(高校2年)は91.3cmで最高となった。

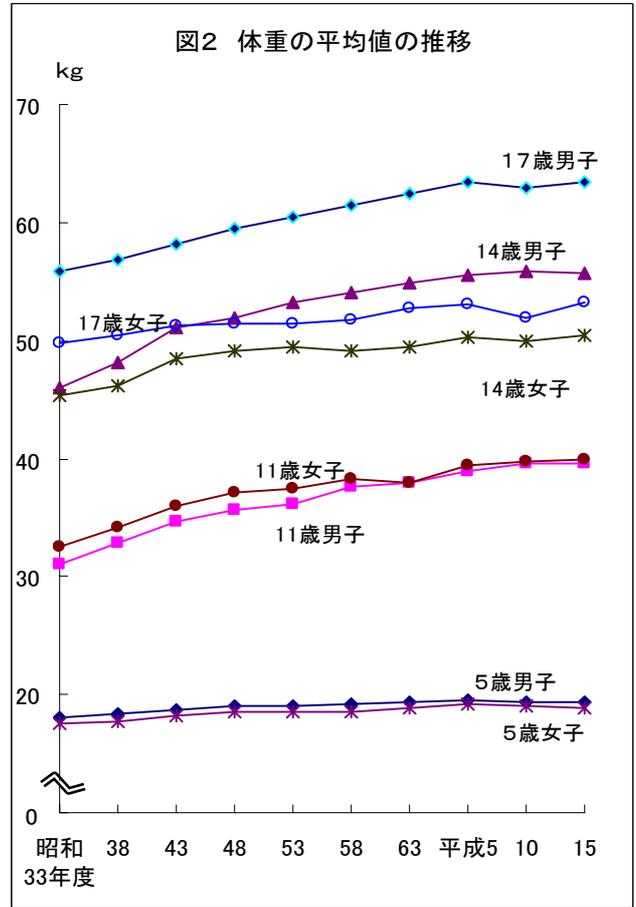
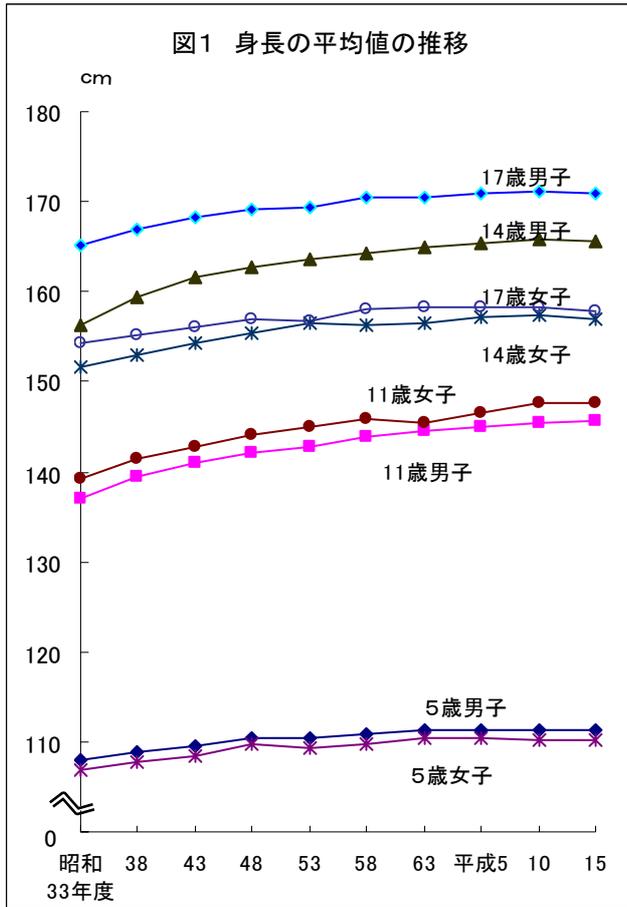
イ 女子は、10歳(小学5年)が76.2cmで最高となった。

表1 年齢別 身長、体重、座高の平均値

(単位 cm,kg)

区 分	男 子			女 子				
	身長	体重	座高	身長	体重	座高		
幼稚園	5歳	111.3	19.3	62.5	110.2	18.9	61.9	
小学校	1年	6	117.3	21.9	65.0	116.0	21.2	64.6
	2	7	123.1	24.5	67.8	122.1	24.1	67.6
	3	8	128.5	28.3	70.5	128.0	26.9	70.3
	4	9	134.4	31.6	73.2	133.2	30.2	72.6
	5	10	139.5	34.7	75.1	140.8	35.0	76.2
	6	11	145.6	39.6	77.9	147.7	39.9	79.7
中学校	1年	12	152.7	44.8	81.3	152.7	44.8	82.4
	2	13	160.4	50.4	85.2	155.7	47.9	83.8
	3	14	165.7	55.7	88.3	157.0	50.4	84.5
高 校	1年	15	168.7	60.4	90.2	157.7	52.1	85.2
	2	16	170.9	62.8	91.3	158.0	53.1	85.5
	3	17	170.9	63.5	91.5	157.9	53.2	85.5

(注) 網掛けは、調査開始(昭和23年度)以来の最高値(過去最高と同値を含む)



2 年齢間比較(表2)

身長、体重、座高の年齢間の差を比較すると、男子は前年度と同様に「12～13歳」が最大となっている。
 女子は、身長、座高は「9～10歳」が体重は「10～11歳」と「11～12歳」が最大となっている。

表2 年齢間差

(単位 cm,kg)

区分	男子			女子		
	身長	体重	座高	身長	体重	座高
5～6歳	6.0	2.6	2.5	5.8	2.3	2.7
6～7	5.8	2.6	2.8	6.1	2.9	3.0
7～8	5.4	3.8	2.7	5.9	2.8	2.7
8～9	5.9	3.3	2.7	5.2	3.3	2.3
9～10	5.1	3.1	1.9	7.6	4.8	3.6
10～11	6.1	4.9	2.8	6.9	4.9	3.5
11～12	7.1	5.2	3.4	5.0	4.9	2.7
12～13	7.7	5.6	3.9	3.0	3.1	1.4
13～14	5.3	5.3	3.1	1.3	2.5	0.7
14～15	3.0	4.7	1.9	0.7	1.7	0.7
15～16	2.2	2.4	1.1	0.3	1.0	0.3
16～17	0.0	0.7	0.2	△ 0.1	0.1	0.0

(注) 網掛けは、間差の最大値を示す。

3 男女間比較(表3)

同年齢の男女間を比較すると、5歳から9歳までは身長、体重、座高とも男子が女子を上回っているが、10歳になると身長1.3cm、体重0.3kg、座高1.1cm、11歳では身長2.1cm、体重0.3kg、座高1.8cm、12歳では座高が1.1cm、女子が男子を上回っている。

13歳から身長、体重、座高とも男子が女子との差を拡大していき、男女差が最大となる時期は、17歳で身長13.0cm、体重10.3kg、座高6.0cmとなっている。

表3 年齢別 男女差

		(単位 cm,kg)			
区 分		身長	体重	座高	
幼稚園		5 歳	1.1	0.4	0.6
小学校	1 年	6 歳	1.3	0.7	0.4
	2 年	7 歳	1.0	0.4	0.2
	3 年	8 歳	0.5	1.4	0.2
	4 年	9 歳	1.2	1.4	0.6
	5 年	10 歳	* 1.3	* 0.3	* 1.1
	6 年	11 歳	* 2.1	* 0.3	* 1.8
中学校	1 年	12 歳	0.0	0.0	* 1.1
	2 年	13 歳	4.7	2.5	1.4
	3 年	14 歳	8.7	5.3	3.8
高校	1 年	15 歳	11.0	8.3	5.0
	2 年	16 歳	12.9	9.7	5.8
	3 年	17 歳	13.0	10.3	6.0

(注)*印は、女子の数値が男子を上回っていることを示す。

4 世代間比較

(1) 男子(表4)

昭和60年度生まれ(昭和60年4月2日～昭和61年4月1日の間に生まれた者。以下同様)の17歳を昭和30年度生まれ(親の世代)と比べると、5歳では昭和60年度生まれが親の世代を身長2.0cm、体重1.0kg上回っている。世代間差が最大になるのは、身長・体重ともに14歳で、昭和60年生まれが親の世代より身長5.7cm、体重6.4kg上回っている。

また、それぞれの世代の年間発育量をみると、昭和60年度生まれと親の世代とも身長、体重が11歳時で最大となっている。総発育量においては、昭和60年度生まれの身長が60.2cm、体重が44.2kg、親の世代の身長が60.5cm、体重が41.2kgとなっている。

表4 昭和60年度生まれと昭和30年度生まれ男子の比較

(単位 cm,kg)

区 分	身 長					体 重				
	昭和60年度生まれ	年 間 発育量	昭和30年度生まれ	年 間 発育量	世代間差	昭和60年度生まれ	年 間 発育量	昭和30年度生まれ	年 間 発育量	世代間差
5 歳	110.7	6.2	108.7	5.2	2.0	19.3	2.3	18.3	1.6	1.0
6	116.9		113.9		3.0	21.6		19.9		1.7
7	123.0	5.6	119.5	5.5	3.5	24.8	2.6	21.9	2.6	2.9
8	128.6		125.0		3.6	27.4		24.5		2.9
9	133.6	5.3	130.4	5.0	3.2	30.5	4.7	27.6	3.4	2.9
10	138.9		135.4		3.5	35.2		31.0		4.2
11	145.4	8.0	141.1	7.3	4.3	39.6	6.0	34.4	5.9	5.2
12	153.4		148.4		5.0	45.6		40.3		5.3
13	160.3	5.9	155.7	4.8	4.6	50.7	5.3	45.8	3.8	4.9
14	166.2		160.5		5.7	56.0		49.6		6.4
15	169.3	3.1	165.1	4.6	4.2	60.9	4.9	54.8	5.2	6.1
16	170.4		168.4		2.0	62.7		58.5		4.2
17	170.9	0.5	169.2	0.8	1.7	63.5	0.8	59.5	1.0	4.0
総発育量			60.2		60.5					44.2

(注1) 年間発育量とは、例えば、昭和60年度生まれ「5歳時」の年間発育量は、平成4年度調査6歳の者の体位から平成3年調査5歳の者の体位を引いたものである。

(注2) 総発育量は、17歳の者の体位から5歳の者の体位を引いたものである。

(注3) 網掛けは、年間発育量の最大値、下線は世代間差の最大値を示す。

(2) 女子(表5)

昭和60年度生まれの17歳を昭和30年度生まれ(親の世代)と比べると、5歳では、昭和60年度生まれが親の世代を身長2.2cm、体重1.3kg上回っている。世代間差が最大になるのは、身長・体重ともに11歳で、昭和60年生まれが親の世代より身長4.6cm、体重4.8kg上回っている。

また、それぞれの世代の年間発育量をみると、身長ではともに10歳時が最大となっており、体重は昭和60年度生まれが10歳時、親の世代が11歳時で最大となっている。総発育量においては、昭和60年度生まれの身長が48.0cm、体重が34.3kg、親の世代の身長が49.2cm、体重が33.9kgとなっている。

表5 昭和60年度生まれと昭和30年度生まれ女子の比較

(単位 cm,kg)

区 分	身 長					体 重				
	昭和60年 度生まれ	年 間 発育量	昭和30年 度生まれ	年 間 発育量	世代間差	昭和60年 度生まれ	年 間 発育量	昭和30年 度生まれ	年 間 発育量	世代間差
5 歳	109.9	6.5	107.7	6.5	2.2	18.9	2.3	17.6	1.7	1.3
6	116.4	5.7	114.2	4.2	2.2	21.2	2.8	19.3	2.2	1.9
7	122.1	5.7	118.4	5.8	3.7	24.0	3.0	21.5	2.5	2.5
8	127.8	5.6	124.2	6.0	3.6	27.0	3.5	24.0	3.2	3.0
9	133.4	6.8	130.2	5.8	3.2	30.5	4.2	27.2	3.7	3.3
10	140.2	7.2	136.0	6.8	4.2	34.7	5.4	30.9	4.4	3.8
11	147.4	5.4	142.8	6.1	4.6	40.1	5.0	35.3	5.8	4.8
12	152.8	2.9	148.9	4.1	3.9	45.1	3.2	41.1	4.8	4.0
13	155.7	1.6	153.0	1.2	2.7	48.3	2.1	45.9	2.4	2.4
14	157.3	△ 0.1	154.2	1.2	3.1	50.4	2.6	48.3	2.3	2.1
15	157.2	1.0	155.4	0.4	1.8	53.0	△ 0.3	50.6	1.2	2.4
16	158.2	△ 0.3	155.8	1.1	2.4	52.7	0.5	51.8	△ 0.3	0.9
17	157.9		156.9		1.0	53.2		51.5		1.7
総発育量		48.0		49.2			34.3		33.9	

(注1) 年間発育量とは、例えば、昭和60年度生まれ「5歳時」の年間発育量は、平成4年度調査6歳の者の体位から平成3年調査5歳の者の体位を引いたものである。

(注2) 総発育量は、17歳の者の体位から5歳の者の体位を引いたものである。

(注3) 網掛けは、年間発育量の最大値、下線は世代間差の最大値を示す。